

# 伊東港 港整備交付金事業

## 事後評価(事業完了後5年経過)



交通基盤部 港湾局 港湾整備課

# 観光棧橋・浮棧橋の整備概要

事業期間:平成16年度～平成25年度

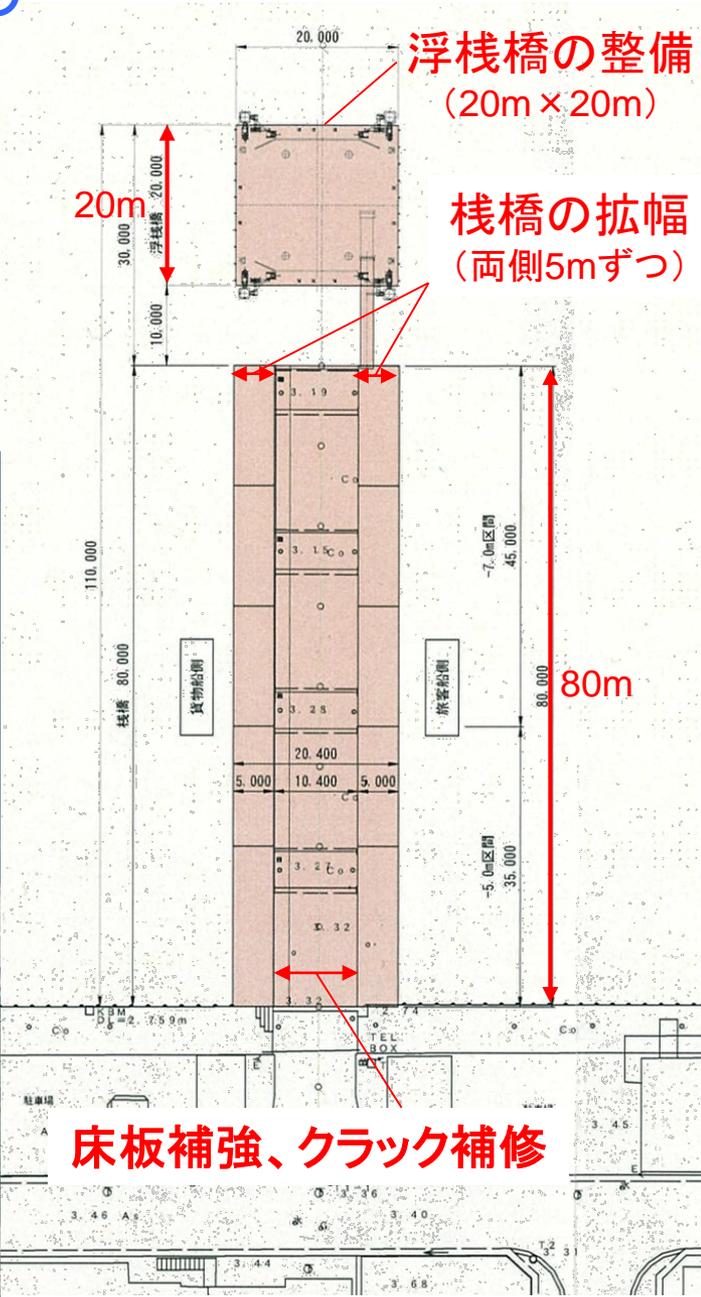
事業費:963百万円

事業量:延長100m

事業内容:棧橋(-5.0m)改良(L=80m,B=5.0m)

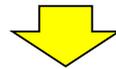
棧橋(-5.0m～-7.0m)改良(L=80m,B=5.0m)

浮棧橋 1基(20m×20m)



# 事業の経緯

- 既存施設の観光棧橋は昭和36年度に整備した棧橋形式の施設であり、**床板の強度不足や舗装面のクラック等の老朽化が著しい**状況であり、継続利用をするためには、補強対策が必要であった。
- 観光棧橋は幅員10mと狭く、旅客利用と荷役作業が混在しているため、**旅行者の安全や荷役作業の支障**となっていた。
- 観光船舶の喫水(-5.4m)であることから、既存水深(-5.0m)での入港が困難であった。
- 伊豆半島で地震等の被害を受け陸上交通が途絶えたときの防災機能の強化が必要であった。



- ①老朽化対策として、床板補強工及び舗装補修を行い、施設の延命化を図る。
- ②**棧橋の拡幅改良**(両側5mずつ)し、**旅客船用(-5.0m~-7.0m)**と**貨物船用(-5.0m)**に分離して、安全で効率的な利用を図る。
- ③観光棧橋の一部を**水深(-7.0m)に増深**することで、観光船の入港を可能とし利用促進を図った。
- ④伊豆半島の防災機能強化として、海上自衛隊等の大型輸送船から**緊急物資を運搬する台船**として利用するため**着脱式の浮棧橋**を先端部に整備した。なお、常時利用としては遊覧船や急難活動等で使用する小型船の係留施設として利用する。

# 整備の状況①

## 観光棧橋(両側5m拡幅改良)



## 観光浮棧橋



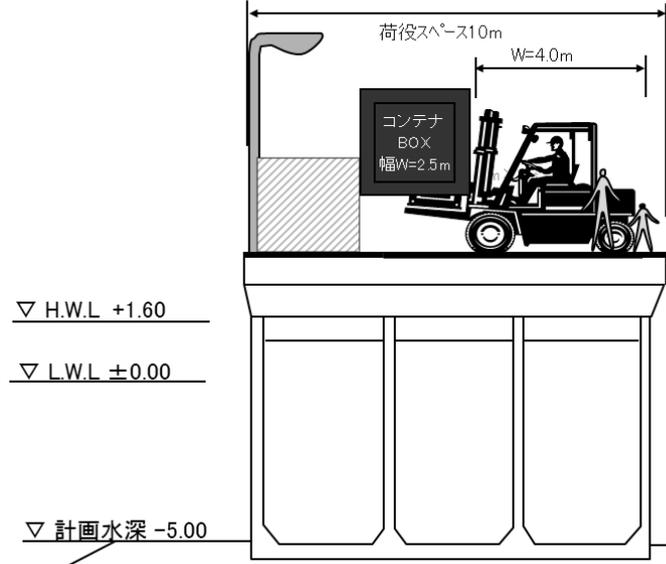
# 整備の状況②

## 観光棧橋(両側5m拡幅改良)

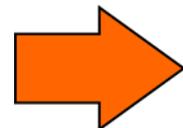
整備前

貨物船側

荷役にフォークリフトを使用するため、現況のアpron幅10mでは、荷役に支障が生じている。また、旅客の安全性が確保されていない。



旅客船側



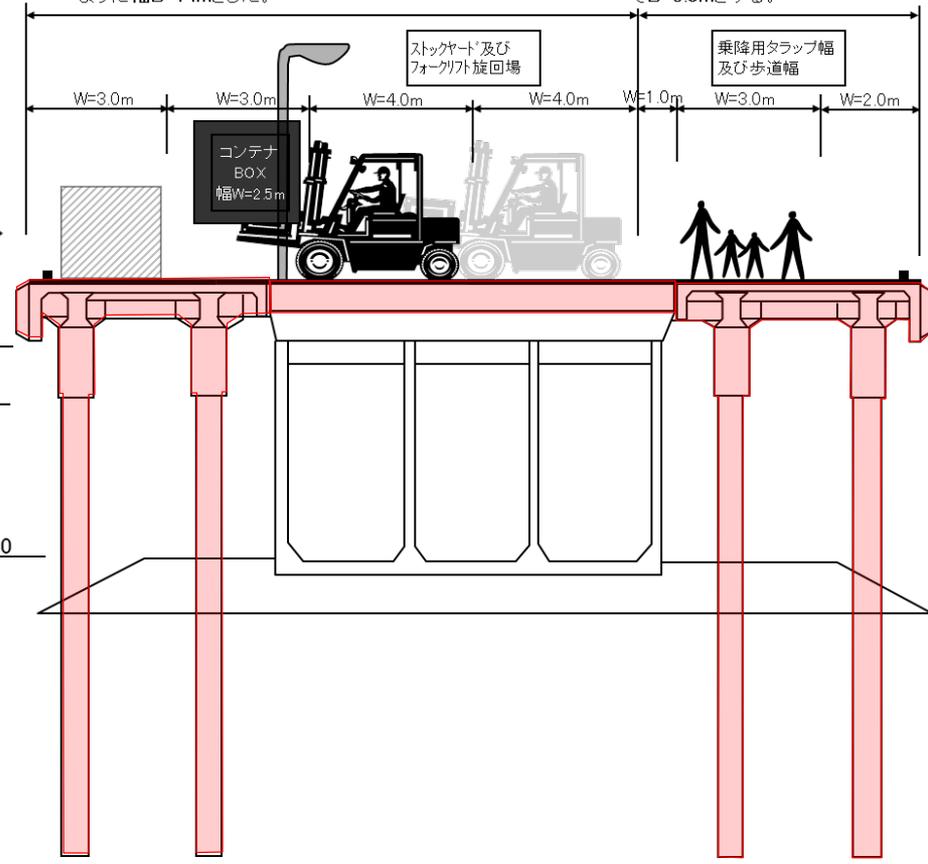
▽ H.W.L +1.60  
▽ L.W.L ±0.00  
▽ 計画水深 -5.00

整備後

貨物船側

荷役作業の形態図

フォークリフトを使用するため、安全かつ円滑な荷役に支障がないように幅B=14mとした。



旅客船側

旅客の形態図

旅客の安全かつ円滑な通路としてB=6.0mとする。

# 整備の状況③

## 観光浮棧橋(状況説明)



H28.8の台風9号による係留装置の損傷状況  
(係留装置に歪みが発生)



退避係留作業状況

- 平成28年8月の台風9号により浮棧橋の係留装置が損傷したため、応急仮復旧していたが、平成30年2月の冬期風浪により再度損傷したことから、現在は、応急改修を行うための調査・設計のため、一時的に退避係留を行っている。
- 今年度中に改修設計を完了し、工事に着手する。

# 便益の考え方

## ①旅客移動便益

代替港を熱海港とし、観光棧橋を利用する旅客者の交通費を移動便益として計上した。

**旅客数（乗船人数）：**  
**4,336人/年（初島）、3,329人/年（大島）**  
**移動便益：35,118千円/年**

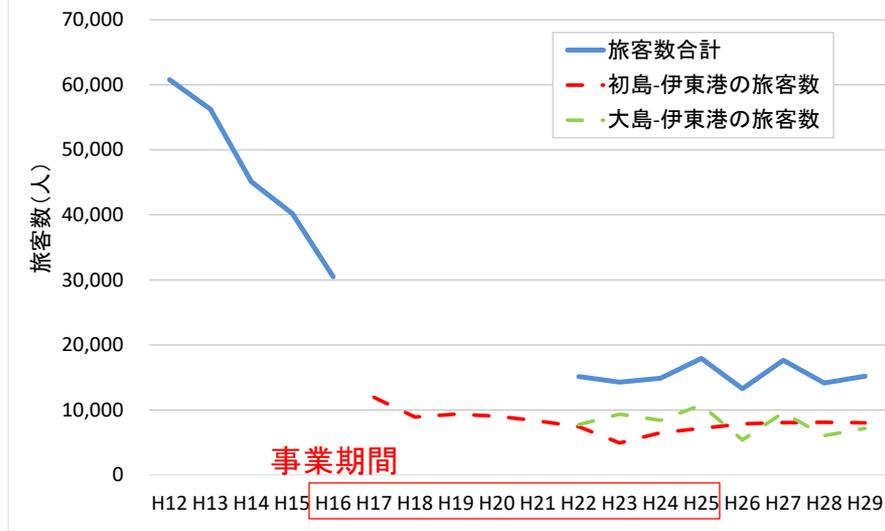
## ②貨物輸送便益

代替港を熱海港とし、取扱貨物の陸上輸送と海上輸送の費用を便益として計上した。

**取扱貨物量：9,312t/年**  
**輸送便益：34,860千円/年**

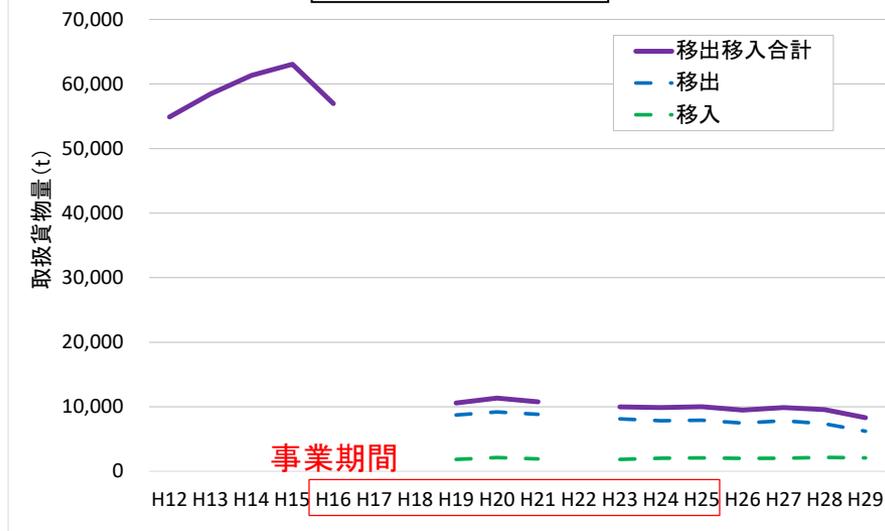
※熱海港を代替港とした考え方  
伊東港内において、観光棧橋を利用する貨客船の係留可能施設が無いため、近隣港湾で観光棧橋同等の機能を有する港湾として設定した。

### 初島・大島との旅客者数の推移



※H16頃まで観光棧橋に発着する旅客船の運航日数の減少に伴い、旅客者数が減少

### 取扱貨物量の推移



※大島に運んでいたセメント量の減少に伴い、取扱貨物量が減少

## 費用対効果分析

**総費用(C) = 16.2億円(当初:9.2億円)**

- **事業費 14.8億円(当初:8.3億円)**
- **維持管理費 1.4億円(当初:0.9億円)**

**総便益(B) = 19.14億円(当初:23.1億円)**

- **移動便益 9.61億円(当初:17.5億円)**
- **輸送便益 9.54億円(当初:5.5億円)**

**総費用(C)に対する総便益(B)**

**$B/C = 1.18$ (当初:2.50)**

# 対応方針（案）

**（１）事業効果は発現されているが、損傷した浮棧橋については早期に修繕の必要がある。**

観光棧橋の補強及び拡幅・増深工事を実施したことで、伊豆大島、初島への移動手段や物資輸送の拠点としての効果が継続できている、しかし、浮棧橋については、台風で損傷した個所を早急に改修し、安全で安定的な利用可能な施設とする必要がある。

**（２）今後の対応**

維持管理計画に基づき適切な維持・補修等を行っていくと同時に、浮棧橋の改修設計を本年度中に完了させ、工事に着手する。

**（３）同種事業への反映等**

観光棧橋の整備について、利用者や、関係機関との協議、地元住民や漁協の協力を得て工事を円滑に実施することができた。

今後の同種工事についても、関係者への丁寧な対応により効果的な事業執行に努めていく。